夕刊 磐城新聞

十二月十日發行

定價 一部金五錢 一ケ月金六拾五錢（郵税拾五錢）
廣告料金 普通欄 金六拾錢 記事欄 金九拾錢（五號十二字詰一行）（場所指定一行一圓増）
編輯印刷兼發行人 鈴木衍 石城郡平町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
發行所電略（タイライワキ） 平郵便局私書函第十二號 電話五六四番

（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五五六五番

天氣豫報

小名濱測候所發表

今晩は北の風晴後曇
明日は北西の風曇時雨るるが後晴

展ける山

上田鐵干

上

比良や伊吹の山々に降雪をみるころになると、いつもしめり勝ちな湖上の大氣も遠く日本海の北から吹いて來るうすら寒い風に乾燥して、少し小高い山あたりから見晴すと、湖の隅々までが澄み透ふして展望出來るのである

かつて宿院を少しばかり森深く下だつた法然堂に無想庵先生を訪ふた時『比叡山は展望のきく山だらう』と言はれたが、こゝ叡山から見晴るかす近江湖國の容はさすがにいゝ眺めだと思つた

×

風花や湖をへだてゝ伊吹晴る

×

朝がた湖上の大半を霞ませてゐた型のやうな雲も追々散らけて、ずんぐり寒い北風がこの山上一帶のぬくみを攫ふかのやうに、山腹の森々や四明へつづく杉の並林へうなりをたてゝ吹きあたつてゐた。杉の下間に生ひ茂げつてゐる末枯の熊笹ががさ/\と落葉のささやきをおこして、そこには幾千年となき山の聲地の響が湧きひろがつてゐる如くでもあつた

×

私は根本中堂から阪本へくだる参道のどまん中につゝ立つてゐる一本杉によりかゝつて、晴れきつた近江を見おろしながら湖と空の色に種々と想ひをそゝぐのであつた

×

吹き晴れし比叡の空の冬蕊

×

さきほどまで湧きのこつてゐた山の端の雲も次第/\に消に散つて、蒼空の領域を擴げてゆくとともに比良や伊吹や三上山はては田上、沖の島の山をはじめ湖の靈島竹生島までがその容をはつきりと浮び出し、湖の碧と空の蒼と合したる湖國のすがたはまさしく一大碧瑠璃の世界の一瞬と云ふべきであらふ

時吟（下）

平華生

○皇軍にクリークもなしトーチカも
○この頃はニュースの時間待遠し
○ラヂオから何が出るかと片唾呑み
○アナウンサ聲ふるはして大勝報
○公會堂補助もきまつて目鼻つく

12月11日

△澤庵禪師寂（正保二）△獨黴菌學者コッホ生（一、八四三）△エジプト舊王國憲法を復活に決定發表さる△税務疑獄事件天理敎に延ぶ（昭和一〇）

南京攻略近

珠雲 小野務平

高塹深濠守力空
皇軍精鋭策環攻
南京主將今何夢
明日應戰我掌中

アンテナさん

關昭一郎

アンアン アンテナ
アンテナさん
高く立つて何してんの
向うに見ゐるアンテナと
電話ごつこをしてゐるの

アンアン アンテナ
アンテナさん
背伸びしながら何見てんの
スヤスヤ可愛い坊ちやんの
樂しいおねむを見てゐるの

アンアン アンテナ
アンテナさん
默つて立つて何聞いてんの
日本の兵隊大勝利
戰況ニュースを聞いてんの

流雲詩抄錄

橫田知秋

さつきに濡れて鳴くもよし
花散りかけた露草の女
たばこに染つた戀であり
ふところ手した愛である
女は五月風であり
茶つぱい枇杷の花である

×

むらさきの着付けも似合ふたし
只一度花が散つて
細い身だけは夢のやうに
ふくらんだ
青い日が照る
そのやうに
わびしさはもう散りかけた
女に光る

ただそれだけの古い唄
うろめる唄は少年にあつた

×

冬枯れの籔ぐろに
ひねもす鳴くは
檜松、落葉
去年わすれた
柔い綿のその芽はまだ見わぬ

×

街は温泉の街
ゆうぐれの小路
熟れた月夜の戀のこと
落葉檜松しぐれわたれば
泣いて母呼ぶ山の子に
いつもわたしの詩が散つた
詩は空ゆく雲でした
濡れて旅ゆく風でした

講談 悲戀 髑髏組（どくろぐみ）

(66) 林杢兵衛作 金子士郎畫

繪姿（二）

『うん、一時江戸へ入り込んだと云ふ知らせがあつて大騒ぎをやつたが、いまだに何事も起らねえところを見ると、もう此の江戸には居ねえらしい』

『そりやア失張りなんで御座いませう、親方衆の警戒が厳しいので手も足も出ず流石は江戸だと驚いて、尻尾を巻いて逃げ出したので御座いませう』

『さうかも知れねえが、まだお上からお達しがねえから、手も緩めることが出來ねえのだ』

『御苦勞なことで御座いますね、さうして親方衆が警戒して下さいますので、私共も安心して眠られると云ふ、誠に有難いことで……』

『お前のやうに云つて呉れると、俺達の仕事も張合があるてえもんだ。だが、考へると隨分厭なこともあるぜ』

『さうで御座いませうな。お察し申します』

『ところで、早速お前に訊きてえなア……』

茂十はさう云ひながら、調書をサッサとめくつて五枚目のところを開き『これだ』と、膝の上へ置いた。

佐治兵衛はまた覗き込んだ

『今度の繪姿がついてゐませんね』

『うん、これに參考人の云ふところを書き取つたがかうだ。實ア昨夜これも女泥棒だが、多分出來心からしい』

『へえ、女の……？』

『それが昨夜、昨夜と云つたところでまだほんの暮方だ、芝神明の境内で、易者の財布を盜つて逃げ出したと云ふんだ』

『へえ……！ 世の中もだん/\物騒になりますね』

『そうして大勢に追つかけられて、なんでも此の神谷町あたりの露路へ逃げ込んだまゝ行衛知れずになつたつてえ譯なんだ』

茂十の視線は、佐治兵衛の顔から離れない

『なる程、それであの邊は皆手前共の家作で御座いますから、それでまア店子の中に、さう云ふやうな者がありやしねえか？と仰有るんですね』

『まアそんな譯だ。お前ンちの店子にそんな悪い者はあるめえが、ひよつとすると今云ふ出來心の盜みらしいから、困つて居る者の中にだなア……』

『いや、よく解りました。それでその女の人相を見た者がありますので？』

『うン、盜られた易者がよく見て知つてゐるんだ。始めは何んでも易を觀てもらひに來たさうだが。そのうちに隙を狙つて盜つたんだ』

『易を觀て貰ひに――？』

『さうだ。だから俺の考へでは、病人でもあつて大變お詣りに行つての歸り路。其處に居た易者に觀て貰ふに氣なつたんだ。すると目の前に財布が置いてあるつい、ムラ/\と淺墓な心を起したんぢやねえか？と思ふんだ』

『大體その金はどれ位い盜られたので御座います、そ』

『それがおかしい事には盜られた易者も判らねえと云つてゐるんだ、と云ふのは、その女の前に來た客が忘れて行つたのを、易者は今に取りに來るだらうと思つて、片附けもしねえで見臺の脇へ乘せて置いたそれをまた盜まれたの云ふのだ』

『へえ！ なか/\入り組んだ事件ですね。そうしてその女の人相と云ふのは。大體どんな風なので御座いますか？』

吸入用酸素 純良
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
開内藥局 電話四〇番

銃後の活躍に
フタバの自轉車
歳末奉仕大特賣中 十二日より二十五日まで
超高級〇〇記念號自轉車
奉仕期間中 特價三十八圓
税金のかゝらぬ 小型リヤカー 二十圓より各種
フタバ式大型重量リヤカー 二十五圓五十錢より各種
フタバ商會 平市新川町郵便局前

恐るべき中風、腦溢血を速治せしむる
アイヨー錠
血壓を下げ、血管若返り、中風を全治し、早老及老衰を豫防す。
中風の原因は血管の硬化にあり血管硬化すれば血壓高まり精神的並に肉体的に退行現象を生じ所謂老年病を誘發し或は中風腦溢血を突發す。アイヨー錠の應用は血管に若返り現象を與へ老衰の進行を緩徐ならしめ初老及中老期に隨伴する總ての不快症を除去し中風を豫防す。
動脈硬化症、高血壓症、初老期に於ける体力及精力減退、中風、腦溢血の豫防に常用すべき貴重藥
百四十四錠（八日分）貳圓 四百八十六錠（廿七日分）六圓 千八百錠（百日分）貳拾圓
專賣店 山野邊藥局 平市五丁目（電呼六六八）

近眼老眼亂視眼用
メガネ澤山取揃つて御座居ます。
是非一度御來店下さい
各眼科處方調製
正確と勉強の店
玉屋眼鏡店 平市二丁目

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

整形外科專門
X光線科
宍河内醫院 平市擾槌小路 電話五八八番

あまと自動車商會
平市二丁目 電話六四〇番

期節講習生募集
一、開設の趣旨
本講習會は平常家業に從事し研究の時に恵まれざる子女のために地方農閑期を利用して一般家庭に適切なる衣服の裁縫を授るを主眼とし兼ねて婦德の涵養に努むることあり
一、講習要目及其他
1 講習要目 和服裁縫一般
2 期間 自昭和十二年十二月 至翌年三月 四ヶ月間
3 授業時間 毎日自午前九時至午後四時
4 授業料 月額金一圓
一、寄宿舍 自炊の便あり
（外に洋裁の講習もあり）
文部大臣認可 平市 平陽女學校 電話四四五

職工募集
一、大工 數名
一、雜夫 數名
右至急募集ス
御希望ノ方ハ職業招介所若シクハ當方ニ御來談有タシ
平市十五丁目 佐藤木工所 電話二五三番

平みやげ
七五三の御祝品に特に
赤白最中
右取揃へて御座います

風味自慢
米屋の最中
米屋もなか專門店
平市五丁目 呼電二九〇番

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平市・九品寺前

御贈答品には
ニンベン
かつをぶし
宍戸屋商店
平市四丁目
電話（鹽干部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

恒例の不定期列車運轉
年末年始の旅客輸送緩和に　來る廿日前後から實施

鐵道では年末年始に激増する旅客輸送の緩和をはかるため、本月三十日前後から來月中旬まで全國主要都市間にそれ〴〵恒例の不定期列車を運轉する、地方關係分左の如し

上野、青森間（急行、常磐線廻り）

△下り　第二〇一列車（自十二月十八日、至一月八日）上野發午後六時五〇分、平發午後十時八分、仙臺午後零時三六分、青森着午前七時二八分

△上り　第二〇二列車（自十二月十九日、至一月九日）青森發午後一〇時一五分、仙臺發午前五時〇二分、平發午前七時二十八分、上野着午前一〇時五〇分

日本水素工業
小名濱工場地鎭祭　昨九日盛大に擧行

日本水素工業株式會社小名濱工場建設の地鎭祭は昨九日午前十一時より同町海岸元製鹽所の敷地に於て小名川神宮以下數名の神職により執行

中野社長　熊谷常務　小泉支配人　藤村工場長　小野町長　福來築港所長　西山校長　八巻署長　高屋税務署長　田中土木監督所長　山崎泉驛長　小濱町議代表　古川鮫川疏水代表　工事請負關係其他

各方面代表の玉串奉奠後中野社長の挨拶に對して小野町長の祝辭あり、終つて現場に簡楚な祝宴を張り一同大に産業報國の氣分を漲調して和氣靄々裡に一時散會した

日本水素工業　講演と映畫の夕
多數町民の入場に賑ふ

工場の新設により同町の將來に一層の發展性を示唆した同社では地鎭祭當日午後六時より石城劇場に於て『講演と映畫の夕』を催し（講演）挨拶—日本水素工業株式會社中野社長　人口食糧問題と我等の工場—三木技師　國防と液体燃料—中西技師　護國産業の大精神—藤村工場長　挨拶—小野小名濱町長（映畫）時局映畫漫畫（オールトーキー）を公開したが同社の事業內容を知らんとする多數町民により非常に盛會であつた

平商補助　商品鑑定
七百圓に決定

平商業學校商品鑑定施設費として金七百圓の文部省十二年度實業教育國庫補助金が昨九日決定した

けふ町村長會　石城

町村長支會總會を今十日午前十時から市內マルトモホールに開き出征軍人遺家族慰問其他に關し協議

小劒士晴の鬪ひ　愈明後日第三校で

郡下三警察署主催小學兒童劍道大會はいよ〳〵明後十二日の日曜をトし平第三小學校講堂に催す

國歌合唱、優勝旗返納（高等科平第一　尋常科同第三）八巻平分會長挨拶　演武上の注意（鈴木部長）に次いで試合に移るが參加校は目下のところ左の九校で選手六十名、新鋭錦校選手の意氣もすさまじく熱戰を豫想される

（高等科）草野　高久　四倉　錦　豐間　磐崎　好間　平第一
（尋常科）磐崎　藤間　平第一　同第三

。。。。。。濱通り自動車々体檢査

各警察署管下の自動車々体檢査は來る二十三日から三日間市內八幡小路檢査場で行ふ

塩田伍長　英靈凱旋

北支山岳戰で偉勳をたてた貴島部隊伍長鹽田良吾君＝小名濱出身＝外十四柱の英靈は十九日朝〇〇港から原隊に聲なき凱旋をなし、翌十四日軍縣市合同慰靈祭が執行される

生産不足が因
悩みの濱三郡同業組合
騰る木炭—

お米も、モチ米もお正月を前にしてグン〳〵騰る一方、それに木炭まで步調を合せてゐるかたちなのでけふこの頃のお台所はなか〳〵樂ではない。木炭相場の高いのは一昨年來の生産不足が祟つてゐるもので濱三郡組合の生産統計を見ても去月中は豫定高より五萬俵減の十四萬俵、今月も二十五萬五千俵のところがはや上旬を越えると云ふのに未だ六千俵位なものだ、同組合が今年度中の見込み生産高は二百十五萬俵（三月まで）なのに去月分迄の通算はこんな關係から百萬俵足らずと云ふ心細さに同組合でもいまのところ昨年より一俵につき四五十錢は高く安いものは殆ど二倍位に上つてゐる三郡を通じた專業者は約百名に過ぎぬが副業者は千二百名位あり、これら副業者が今後農閑季を利用して一稼ぎするのが一縷の望みですよ

とさらでだに降雪季に際する生産不足を前にして一と惱みの態である

大日本電力で
全面的値下斷行
愈よ今月から實施

昭和七年十二月一日施行の電氣事業法による一般電氣料金の更改が全國一齊に發表されたが何れも時代相を表現しての引下統一である縣下に於ける大日本電力株式會社も率先して大勢に順應し引下更改をなしたが大要次の如くである

定額料金一燈一ケ月

則安式燈明	二〇錢
五燭	五五
十	六五
二十	八〇
三十二	一、〇〇
五十	一、三五
百	二、〇五
二百	四、〇〇
四百	八、〇〇
五百	一〇、〇〇

從量料金

二K時以內	一八
同超過分	一四
四K同	一〇
六K同	六

電力

馬力	晝	夜
一	七〇〇	四、〇〇
二	六、九〇	三、八〇
三	六、八〇	三、六〇
五	六、六〇	三、二〇
六	六、五〇	三、〇〇
七	六、四〇	三、八〇
十	六、一〇	三、二〇
十三	五、九〇	二、八〇
二十	五、七〇	二、四〇
三十	五、五〇	二、〇〇

以上の如く定額電燈料金率は低燭光に到る各々五分乃至一割五分の引下げがあり、その內十六燭光は二十燭光へ、二十四燭光は三十二燭光へと物にて値引する等苦心のあとが窺はれる。電力料は動力使用は其便益上將來殆ど從量取引になるべきを見越せるものが此の方面に最低料を引下且つキロワット時二割乃至二割五分程度の引下げをなしてゐる。定額電燈料の表示に就て同社は點火料と併合して表示するので器具損料を別に徴收する會社よりは其れ丈け低額となるわけである。其他電燈及び計器の取付料を全廢せる電燈計器損料を徴收せざる等は他に比して出色の制度で隨つて總体上の需要家負擔は低位となる筈で從來縣下大會社中最高料金の定評あつた丈け全く劃期的更改と云ふべきである

片倉從業員獻金

片倉磐城製糸工場從業員四百二十三名は國民精神總動員週間五、六兩日に際し受けた特別賞金二十一圓十五錢又應匠町市役所吏員佐藤伊太郎氏は一圓五十錢を何れも國防費として市役所へ

陣中を聽く（41）
絶大な銃後の支援に　盡忠報國の覺悟を深む
市內仲間町出身　菅　歳英君　通信

—內地は大分秋も深くなつて來た事と存じます。江南は朝夕こそは大陸的に冷たが多少烈しくなつて來ましたが日中は依然たる高温を保つてゐます。戰時態勢下に在る市の如きは將に興隆の途上にもありて何程か御繁忙の事と存じます

內地からの音信によると在郷軍人後援會の心からなる御後援下さるとの由感激に堪へません、陣中から遙かに御禮申上げます。この絶大なる御聲援に酬ゆるに盡忠報國の赤誠を披瀝して御奉公致す覺悟を更に深むるものであります、何卒時局柄御身体御大切になされ現下の時局に御精勵あらん事を切に御願申上げます。貴下を通じ國防婦人會へも『菅は元氣である』と御傳聲下さい（十一月一日）在郷軍人後援會長、國防婦人會長宛

手柄話をお土産に！
市內大工町出身　石山七郎君　通信

—私も大元氣、皇軍のため働いて居ります。光陰矢の如しとか申しまして、皆様の歡呼の聲に送られてより早や四ケ月、陣中既に降雪して居ります

任地到着以來軍用品輸送の任に當り不眠不休活躍して居りました、我々〇〇〇隊は突然〇〇科部隊の編成に入り優秀なる挺身〇〇隊を分乘致し〇〇地を出發〇〇方面に向ひ進擊途中各所にて戰鬪を行ひ、其の都度到る處に日の丸の旗を揚げて居ります

皆様の銃後の赤誠に元氣百倍、我々決死の兵は進擊また進擊、破竹の勢を以て敵を擊滅し暴戾なる支那兵を降伏せしめ、我々が手柄話をお土産に戰勝の御報告致しますのも（後略）

十一月二十四日

元氣で轉戰
市內下平窪出身　長瀬良一君通信

—お蔭様を以て小兵無事至極元氣にて轉戰し居り候へば他事乍ら御休心下され度候。御存じの通り支那の暴戾振りには全く物も云へぬ位に候（中略）書面には申し兼ねる次第禁じられ候、幾重にも御願申上候

十一月十日

盲兒火達磨

磐崎村上湯長谷字小石日窪業定治さんの孫桑原イチ子（七）ちやんは去る六日午前十一時半頃自宅附近で遊戯中焚火に轉落大火傷を負ひ手當中八日朝遂に死亡

イチ子ちやんは四つの時痲疹で盲となりお父さんに死に別れた可哀さうな子供、當日は家人が殆ど稼ぎに出た留守中の出來事で附近民から同情されてゐる

けふ死体解剖
東北帝大青木博士來郡
田人の連子殺し後聞

〔一部昨報〕內妻の連子を撲殺、あまつさへ自宅に放火して燒死を裝ふた鬼畜の舞木長三郎（三六）＝田人村炭燒業、昨報三郎は誤り＝は直に身柄を植田署に留置、取調べられてゐたがスラ〳〵犯行を自白、それでも犯した罪の恐ろしさに差入れ辨當にもロク〳〵手をつけずに沈んでゐる

今十日平檢事局大脇檢事は犯人を連行現場で實地檢證を行ひ一方きよ（四）の屍体は同日大脇檢事、久和植田署長らが立會ひ東北帝大青木博士執刀のもとに解剖に附し、更に犯人の內妻五十嵐コウ（三四）も目下植田署に留置、當時の模樣を調べられてゐる

無殘、死体黑焦げ

犯人舞木と內妻コウは會津の山奥で炭燒きをしてゐた當時いゝ仲となり二年前殺されたコウの連子きよと三人で前記田人村に移つたものだが舞木がとかく連子を邪慳に扱ふことから夫婦喧嘩が絶わず、犯行の當日八日朝も一寸したことから喧嘩となり、コウが現場から約十五間下の炭カマドで焚炭材を積んでゐる留守中に鬼畜と化した舞木は長さ約三尺の椚材で罪のないきよの後頭部を毆りつけて即死せしめ、直に犯行をくらますべく自宅に火を放つて初めて騒ぎたてたものである、燒死の屆け出によつて同村遠藤巡査が檢視したところ死因に不審の點があるので直に圓通部長に報告、詳細屍体を檢分すると共に舞木を追究の結果遂に包み切れず自白したもの

尙加害者の舞木は現在先妻との間に出來た十三の男の子と十一の女の子を他に奉公に出してゐると云ふ

齋藤君戰死
錦出身の警察官

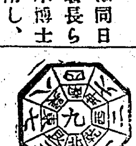
錦村長子出身一等兵齋藤寬君は十月三十一日第一線で病死した旨原隊から發表された

同君は本縣猪苗代警察署勤務として應召、實家には父親彥次郎さん（六八）がお留守番、妻子は耶麻郡磐梯村に居住

鹽屋の美擧
隣保館資金寄附

平市の隣保館は社會事業助成會の手により着々計劃を進められてゐるが今回右建設資金として山崎與三郎氏から金千圓を寄附された

十一日（小名濱潮候豫報）
滿潮　前一〇、〇〇　後一〇、〇〇
干潮　前二、五五　後四、二〇



舊十一月九日　土曜　壬申　先勝　成　氐宿
新十二月十一日

諸判定廳著　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠舘

▲一白　一息入れてのちの計畫を立つるに吉金談成る▲二黑　誠意を衆に認められ地位自ら向上を見すべし▲三碧　我よくに耽らず足る事を知りて安全を謀り吉▲四綠　一時も油斷なく精勵すれば希望達成する日▲五黄　元氣を養ひ勇をこして奮進するが吉病注意▲六白　物事もつれを生じ易き傾向あり輕動する勿れ▲七赤　運氣沈たいし物事を手輕く見て敗を招ぎやすし▲八白　節やくは繁榮の基誠實は向上の根となるべし▲九紫　毛を吹いてきずを求むうくわつに事を企てぬが吉

定評有る大塚の靴
歳末…大賣出し
戰勝の新春に御用意を
紳士靴　七、五〇より
男女學生靴　六、〇〇より
七五三小供靴　大特賣
平田町銀座通り
大塚
電話七十七番

皆様の大黒屋がキレイになりました御來店をお待ち申します
十二月十日ヨリ十九日マデ
増築記念特價大賣出し
お買徳品意外な掘出し物豊富用意

六丁目
木村外科醫院
電話三〇九番

平市南町
大和田醫院
電話一七〇番

十二月五日より
七五三祝着と歳暮大賣出し
特賣品
松山紺カスリ　一圓七十錢
パラマント新柄　一圓五十錢
白時綱毛ネール　一丈　八十錢
名古屋帶　一圓五十錢均一
銘仙　二圓均一
三井呉服店
電38番　248番

當用日記
懷中日記
カルタ、トランプ
コクヨ十六穴帳簿
傳票、算盤
パイロット萬年筆
エリオット萬年筆
支那事變地圖
南京附近詳圖　二十五錢
上海蘇洲地圖　三十五錢
東部支那一般圖　四十錢
ラヂオニュース地圖　二十錢
マルトモ書店
電話 124 234 番